



論点整理

第四章 情報活用能力の抜本的向上と 質の高い探究的な学びの実現 ②

情報活用能力の抜本的向上 ②

改訂を支える十分な条件整備

- ◆ 中学校段階については策定済の指導体制に係る改善計画を着実に履行するとともに、高校段階を含め全面実施を待たず、指導主事を含めた研修機会の拡充や環境整備の推進など総合的な支援を行うべき
- ◆ 技術の進展に伴い、教育内容が妥当性を失うことを防ぎ、教師の過度な負担を避ける観点から、現場が手軽に使える動画教材などを国が提供するとともに、地域人材や企業等との連携の可能性も検討すべき
- ◆ 中学技術・高校情報の教員養成課程の新設の促進や大規模な認定講習を実施するとともに、技術科教員の柔軟な配置や外部人材の活用をしやすいよう、特定期間に集中して授業を実施できること等の一層の明確化を検討すべき



更なる変化への対応（改訂後の教育課程の改善等）

- ◆ 新たな技術が出てきた場合には、授業において、社会的論議についても必要に応じて触れる方向で検討すべき。その上で、情報技術の加速度的な進化に対応した指導内容の刷新を図る観点から、教科書検定のサイクルを念頭におきつつ、学習指導要領解説の一部改訂をタイムリーに行うことを検討すべき
- ◆ 教科書でも対応しきれない変化が見込まれることから、国が必要に応じて指導の手引きやデジタル教材等を提供すべき

心を落ち着けて、物事に取り組む

くんし ゆた おご しょうじん おご ゆた
君子は泰かにして驕らず。小人は驕りて泰かならず。

（訳）君子はゆったりと落ち着いていて、驕り高ぶらないが、小人は反対に驕り高ぶって、ゆったりとした落ち着きがない。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）